

## 令和7年度事業計画に基づく事業報告

公益社団法人伊賀市シルバー人材センターは、令和7年3月末日をもって設立20周年を迎え、記念式典を5月31日に青山ホールにて開催いたしました。記念式典は、西川ヘレンさんをお招きし、講演会を開催し、青山ホールが満員となり大成功を納めることができました。20周年という長きにわたり事業運営ができましたのも、会員の団結と協力のもと、伊賀市をはじめ、各事業者や市民の皆様方のご支援の賜物であると深く感謝申し上げます。

国内では、大阪・関西万博が開催され、新たな日本の未来が創出されました。また、令和のコメ騒動もあり、品薄が解消された後も、生活者の不安や負担感は今なお続いているように感じられます。

そんな中、高齢者を取り巻く状況は、少子高齢化が進み、人口が減少する中、社会の働き手が大幅に減ることが心配されました。「令和7年度版高齢社会白書」（内閣府発行）では、社会の働き手に占める65歳以上の割合は2024年には29.3%になり、高齢者も社会の担い手になっています。また、現在仕事をしている60歳以上の3割を超える方が「働けるうちはいつまでも働きたい」と回答しています。また、同白書によると、シルバー事業においては、「人出不足の悩みを抱える企業を一層強力に支えるため、シルバー人材センターによりサービス業の人手不足分野や現役世代を支える分野での就業機会の開拓・マッチングなどを推進する等、高齢者の生きがいの充実、社会参加への促進を図ることができる。」としています。

このような中、令和7年度の当センターの事業実績は、請負事業から派遣事業への振り替えがあり、請負事業が減少し、派遣事業が増加しておりますが、請負事業及び派遣事業を合計した金額は、前年度の4.1%減となっております。受託（請負）事業では、348,540千円の契約額となり対前年度比92.7%、派遣事業では契約額が106,695千円で対前年度比108.0%となり、総契約額は455,235千円、対前年度比95.9%となりました。また就業率は、75.1%で対前年度比7.3%減となっております。

当シルバーの会員数は、702名で入会者が72名に対して退会者が92名で前年度から20名の減少です。会員の平均年齢は76.1歳と上昇しており、72名の入会者のうち60歳代が24名です。また、ハローワークでの就業相談は、39名の方が来られ、そのうち入会説明会を受け会員になられた方は10名です。

主な施策につきましては、まず新契約方法ですが、令和6年11月に施行されたフリーランス新法に適切に対応するため、厚生労働省から示された契約方法の見直し方針を踏まえて、会員・発注者への説明をするなど、令和7年4月にシルバー事業における新たな契約方法に移行するため、令和6年末から準備をはじめ、予定通り令和7年4月から新契約方法へと移行しました。これについては、令和7年4月から新契約方法に移行したのは、三重県下では、東員町シルバー人材センターと伊賀市シルバー人材センターだけであり、他のシルバー人材センターから、先進地として三重県シルバー人材センターの事務局長会

議で伊賀市シルバー人材センターが講師を努めたほか、各市のシルバー人材センターから問い合わせを受けたところです。

次に、厚生労働省の令和6年度補正予算事業である「シルバー会員就業支援事業」の企画提案を行い、委託事業として受託することができました。ラジコン草刈機、ミスト扇風機、マッスルスーツなどを賃借しました。中でもラジコン草刈機については、夏の暑い中で木陰から草刈りの操作ができるという優れた特徴があり作業効率の向上を実感しました。三重県内でこの事業を受託したのは、伊賀市シルバー人材センターの1カ所だけであり、他のシルバー人材センターからの見学者がありました。

安全・適正就業の分野で、「安全・安心なシルバー事業」の確立を図ることは、センターにとって最優先課題であり、無事故を目指して取り組んでまいりました。毎月1回、必ず開催している草刈班・剪定班調整会議で安全対策への注意喚起などを行ってきたほか、就業前の打合せにおける危険予知トレーニング(KYT)の定着も推進してまいりました。このKYTに取り組んでからは、飛び石事故が令和6年度では2件、7年度では1件と激減しています。こういったことからKYTについて、他のシルバー人材センターから先進事例として取り入れたいという申し出があり、視察がありました。

草刈班・剪定班につきましては、シルバー事業の主要な事業であるにもかかわらず、新規会員の獲得が難しい状況が続いており、平均年齢の上昇により、今後、事業存続について事務局では危機感を持っており、一層の会員獲得に力を入れなくてはならないと考えています。

女性会員活動推進の分野では、女性の会が、一般市民の参加募集を行い「寄せ植え教室」、「おりがみ教室」等を開催し、女性会員の獲得や一般市民へのシルバー人材センターのPRを行ったほか、8月には、「市民夏のにぎわいフェスタ2025」に参加し、PRを行っています。また、3月には、2つの放課後児童クラブ合同で、児童達に旧上野市庁舎（サカクラベース）の見学会の機会を提供し、嘗ては行政を司る本庁舎でしたが、今は図書館として、そして観光の拠点となっている旧上野市の旧庁舎について、なぜ未来に向かって残すことになったのかなど、児童達に、この建築物の価値などを感じてもらおう機会を設けました。

ところで、大変残念なことですが、会員による差別発言があったことが判明してまいりました。このことは、伊賀市シルバー人材センターとして人権教育には取り組んできてはいるものの、各会員一人ひとりまで人権教育が行き届いていなかったということで深く反省をし、悔やんでいるところです。人権啓発は、何度も何度も研修を繰り返さないと身についていけないものであり、今後は、例えば安全講習会や総会の場など、あらゆる機会を通じて人権啓発を行っていくつもりです。

いずれにせよ、高齢化社会にあって今日までの実績は、会員及び関係機関並びに各事業所をはじめ、地域の方々の深いご理解・ご支援の賜物と衷心より厚くお礼を申し上げます。

以下、本年度事業として推進しました主要事項について報告いたします。

## ◎基本方針

- ① 組織運営体制の充実と会員連携の強化
- ② 会員の加入促進と普及啓発活動
- ③ 安全・適正就業の推進
- ④ 就業機会の開拓推進
- ⑤ 技能支援と各種講習の推進
- ⑥ 福祉家事援助サービス事業の推進
- ⑦ 地域高齢者サポート事業の推進
- ⑧ 奉仕活動（ボランティア）の推進
- ⑨ 健康福祉活動の推進
- ⑩ 独自事業の推進
- ⑪ 特定公益増進法人制度の推進
- ⑫ 理事会の開催
- ⑬ 役職員の視察研修
- ⑭ 財務対策強化への対応
- ⑮ KYT（危険予知トレーニング）への対応
- ⑯ 新たな契約方法への円滑な移行
- ⑰ 人権研修会の開催

### 1. 組織運営体制の充実と会員連携の強化

会員自らが主体となり各地区、各事業面での積極的な就業開拓が図られるようリーダー養成と会員連携の推進に努める。

#### ① 専門部会の充実と各委員会活動の活動強化

- ・総務・組織部会（6回）開催

5/2・・・令和6年度事業報告（案）及び決算（案）、令和6年度定時総会全般、記念式典、表彰審査について

7/28・・・令和7年度事業計画所掌事項、シルバー会員就労支援事業、市長・議長要望、懲戒審査委員会の委員長選出、表彰審査会の委員長選出、シルバーワークプラザの指定管理、中期計画の策定、費用弁償等支給要綱の見直し

10/6・・・令和7年度最低賃金、令和7年度職員の給与支給規程の一部改正、役職員人権研修等、理事長、副理事長の報酬の改正、パッカー車運行に伴う運用基準の改正、令和7年度収支補正予算の編成、設立20周年記念事業積立金設置規程の廃止及び設立25周年記念事業積立金設置規程の制定、シルバーワークプラザの指定管理

11/28・・・令和7年度上半期監査結果報告、シルバーワークプラザの指定管理、役職員人権研修について

- 1/23・・・令和8年度事務費率、シルバーワークプラザの指定管理、令和8年度定時総会について
- 3/13・・・公益充実資金取扱規程の制定、令和7年度事業報告（案）、令和8年度事業計画（案）等
  
- ・事業・普及部会（5回）開催 憩いのやかた運営委員会（1回）開催
  - 7/23・・・部会長の選出、令和7年度事業計画所掌事項、令和7年度事業・普及部会の事業計画、夏のにぎわいフェスタ2025、高齢者活躍人材確保育成事業、憩いのやかた運営委員会、三重県シルバーの日の啓発活動
  - 10/9・・・高齢者活躍人材確保育成事業、夏のにぎわいフェスタ2025の結果、シルバー会員支援事業、令和7年度三重県シルバーの日、令和7年度剪定講習会
  - 11/25・・・高齢者活躍人材確保育成事業、令和7年度剪定講習会、憩いのやかた運営委員会の開催、独自事業について
  - 1/26・・・令和7年度剪定講習会、令和7年度事業・普及部会の事業計画の状況、定時総会
  - 3/16・・・剪定講習会の結果、企業ニーズ等アンケート調査結果について、令和7年度事業報告、令和8年度事業計画等
  
- ・安全・適正就業推進部会（5回）、就業適正化委員会（5回）、安全委員会（3回）開催
  - 7/4・・・部会長の選任、令和7年度事業計画所掌事項、事故発生概要・ヒヤリハット報告、令和7年度安全就業実施計画、安全・適正就業強化月間の取組、令和6年度安全標語の募集等
  - 10/10・・・事故発生概要・ヒヤリハット報告、令和7年度安全適正就業強化月間の取り組み、令和7年度安全標語の募集、令和7年度安全講習会等
  - 11/26・・・事故発生概要・ヒヤリハット報告、令和7年度安全講習会の結果、令和7年度安全標語の募集結果等
  - 1/28・・・事故発生概要・ヒヤリハット報告、令和8年度定時総会等
  - 3/12・・・事故発生概要・ヒヤリハット報告、令和7年度事業報告、令和8年度事業計画等
  
- ・福祉・家事援助サービス部会（5回）、福祉・家事援助推進委員会（1回）開催
  - 7/28・・・令和7年度事業計画所掌事項、ボランティア事業、令和7年度シルバー福祉・家事援助サービス月間等
  - 10/9・・・お正月寄植教室、アロマ・サシェ教室、令和7年度福祉・家事援助サービス月間、三重県シルバーの日、女性の会の今後の活動、夏のにぎわいフェスタ結果等

- 11/20・・・お正月用寄せ植え教室、アロマ・サショ教室、おりがみ教室、春の寄せ植え教室、3B体操教室、令和7年度シルバー福祉・家事援助サービスマン
- 1/27・・・お正月寄せ植え教室の結果、アロマ・サシェ教室の結果、児童クラブ合同イベント、令和8年度定時総会等
- 3/16・・・おりがみ教室の結果、春の寄せ植え教室の結果、令和7年度事業報告、令和8年度事業計画、放課後児童クラブ合同イベント等

② 班組織（地域班、職群班）の充実と班機能の確立

（地域班長会議）

- ・ 5 9 班（8/31、1/31）

（職群班長会議）

- ・ 草刈班長会議及び剪定班長会議（毎月1回）開催

安全就業に係る実施計画書、新規草刈就業者講習

2. 会員の加入促進と普及啓発活動

センター事業の進展のため、入会促進と普及啓発活動を実施。

① 入会への定期説明会開催（DVD上映を行う。）

- ・ 年間22回開催 101名参加（昨年より41名減）
- 3月末・・・会員数 702名（昨年より20名減）
- 入会者計 72名（昨年より18名減）
- 退会者計 92名（昨年より1名減）
- ・ 入会者のうち会員紹介による入会 8名

・ 会員の推移

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
771名	740名	700名	725名	722名	702名

② 会報「シルバー伊賀」年2回発行（8月、1月）

- ・ 広報編集委員会・・・5回開催（7/30, 8/8, 8/20, 12/17, 1/9）

③ 伊賀市長・市議会議員長要望

（8/7 市長及び市議会議員長）

④ 市広報による入会説明会及び就業相談会の開催日周知

⑤ 地域での普及啓発活動

- ・ イベントへの参加：市民夏のにぎわいフェスタ 2025

⑥ スマホ教室（2月～3月：6回開催、延べ18名）

⑦ 女性の会主催 寄せ植え教室「秋の花を楽しもう」開催

- 9/19 23名参加（会員外16名、会員7名）

- ⑧ 女性の会主催 「お正月用寄せ植え教室」開催  
12/11 25名参加（会員外17名、会員8名）
- ⑨ 女性の会主催 「アロマ・サシェ教室」開催  
1/20 12名参加（会員外9名、会員3名）
- ⑩ 女性の会主催 「おりがみ教室」  
2/20 24名参加（会員外18名、会員6名）
- ⑪ 女性の会主催 「春の寄せ植え教室」開催  
3/6 36名参加（会員外28名、会員8名）
- ⑫ 剪定講習会を三重県立伊賀白鳳高校で実施  
2/21 19名参加（会員外14名、会員5名）
- ⑬ 地域班長による会員募集中パンフレットの配布（会報配布時）
- ⑭ ケーブルテレビによるイベント取材と放送による啓発
- ⑮ ハローワークでの就業相談
- ⑯ 伊賀市の各支所及び地区市民センターへのシルバー広報誌の配布

### 3. 安全・適正就業の推進

シルバー事業で何よりも優先する安全対策に向けた取り組みを進めるとともに、受託と派遣の事業点検を行い適正就業に取り組みました。

- ① 安全就業現場パトロール実施（8回）草刈・剪定・草引き・公園清掃等  
7/23. 7/30. 8/6. 8/20. 8/27. 9/3. 9/10. 9/17
- ② 事故発生件数14件（物損事故8件・傷害事故6件）

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
18件	17件	11件	27件	17件	14件

- ③ 安全標語の募集（31点応募）  
最優秀作品「いつも心に危険予知 正しい手順で 安全作業」
- ④ 適正就業関係
  - ・ 安全就業推進大会（三シ連）・・・津市（7/15）
  - ・ 安全・適正就業パトロール（三シ連）・・・明和町（10/23）
- ⑤ 安全講習会  
12/14 大山田どんぐりホール 76名参加  
安全標語表彰、安全就業講話、  
講演：「健康で働こう！ ～続けようフレイル予防～」  
労働衛生コンサルタント 関田 素子 様
- ⑥ K Y T（危険予知トレーニング）の推進

### 4. 就業機会の開拓推進

会員に適した就業の場を提供するため、会員のご協力を得ながら就業機会の確保及び新規開拓に努めました。

- ① 就業実績（R8.3.31現在）  
総受託件数・・・4,656件

[公共 1,029 件、民間 1,566 件、一般・家庭 2,061 件]  
 対前年度・・・ 474 件減  
 [公共 48 増、民間 209 減、一般・家庭 313 減]  
 総契約額・・・ 348,540 千円 (対前年度比 92.7%)  
 総就業延日人員 58,180 人 (対前年度 5,666 人減)  
 実就労人員 527 名 (対前年度 58 名減)  
 就業率=就業人員 527/会員数 702・・・ 75.1% (対前年度比 7.3%減)  
 男性就業率 76.6% (就業実人員 357/会員数 466)  
 女性就業率 72.0% (就業実人員 170/会員数 236)  
 伊賀市事務所派遣事業総収入・・・ 106,695 千円 (対前年度比 108.0%)  
**総事業費 (派遣事業含む)・・・ 455,235 千円 (前年度 474,772 千円)**  
**対前年度比 95.9%**

② 事業所訪問・・・中止

③ 空き家維持管理サービス事業者としての空き家管理・・・延 117 件  
 墓地掃除花立・・・延 113 件  
 ふるさと納税返礼品としての空き家管理・・・ 0 件  
 墓地清掃花立・・・延 6 件

受注件数・就業延人員・契約金額の推移 (単位：件、人、円)

	受託 件数	就業延 日人員	契約金額	派遣契約	総契約額
令和 2 年度	5,272	69,542	361,158,558	80,851,672	442,010,230
令和 3 年度	5,210	71,146	378,112,988	70,397,748	448,510,736
令和 4 年度	5,277	71,273	386,270,597	77,282,314	463,552,914
令和 5 年度	5,198	66,104	375,596,445	87,026,015	462,622,460
令和 6 年度	5,130	63,846	375,957,055	98,814,804	474,771,859
令和 7 年度	4,656	58,180	348,539,627	106,694,728	455,234,355

## 5. 技能支援と各種講習の推進

高齢者の就業に必要な知識や技能習得のため事業としての技能講習会を開催する。

### ① 高齢者活躍人材確保育成事業

整理収納とお掃除講習 (整理・掃除) (10/7~8) 8 名参加

シルバーワークプラザ

公園の掃除体験 (清掃) (11/6) 6 名参加 しらさぎ運動公園

## 6. 福祉家事援助サービス事業の推進

高齢化社会の進展で高齢者世帯が増加の中、福祉家事援助等の生活支援や社会参加型活動を行いました。

### ① 地域イベントへの参加

市民夏のにぎわいフェスタ 2025・・・12名参加

## 7. 地域高齢者サポート事業の推進

それぞれの地域の高齢者が日常生活で困っておられる短時間でできる簡易なことをその地域の元気なシルバー会員が安価で支援（受注）する地域高齢者サポート事業（生活支援）について、進めました。

地域高齢者サポート事業（生活支援）

（支援実施）西高倉さずな会・阿山サポート会・小田サポート会

## 8. 奉仕活動（ボランティア）の推進

会員間の連携を深め、シルバー事業のモットーである「すすめよう」「さしのべよう」「まもろう」「つたえよう」を就業だけでなく、地域での奉仕活動においても実施いたしました。

夏のにぎわいフェスタ販売ボランティア活動 8/23 12人

近鉄大阪線青山駅前広場草刈り、落葉清掃、植木剪定作業 11/22 13人

## 9. 健康福祉活動の推進

会報41号健康診断受診推進を掲載等、会員が健康管理に留意いただくため、周知しました。

## 10. 独自事業の推進

高齢化社会が一層進展する中、シルバー会員が受託事業だけでなく自らの事業化に向けた体制整備に努めた。

憩のやかた事業（手芸品販売）・・・延べ49人

憩のやかた事業（野菜販売）・・・延べ66人

### 11. 特定公益増進法人制度の推進

各事業所等にシルバー人材センター事業や特定公益増進法人制度の理解を深めるとともに、寄付行為についても周知を図り、13事業所から140,000円の協力を得て当センター業務の充実に努めました。

### 12. 理事会の開催

主要協議案件、その他事項について、6回の理事会を開催：所掌事項等下記の取組み事項と諸事業を推進

5/12・・・活動状況、理事長・副理事長の活動状況、新入会員、事業実績報告、事（第1回）故発生概要・ヒヤリハット報告、各部会取組状況の報告、三重県内シ

ルバー人材センター実績及び会員数について、令和6年度決算監査について、理事の選任について、令和7年度事務局体制について、令和6年度事業報告、令和6年度収支決算及び決算監査結果報告、役員の選任（案）について、令和6年度収支補正予算について、令和7年度事業計画及び収支予算について、定時総会被表彰者について、定時総会の開催要領について、20周年記念式典について、役員の費用弁償の改定について

5/31・・・理事長、副理事長、常務理事の選出、顧問の選任

(第2回)

6/20・・・役員紹介、令和7年度事務局体制について、例規集配布、伊賀市シルバー人材センターを取り巻く状況について、活動状況について、新入会員について、事業実績報告、事故発生概要・ヒヤリハット報告、各部会取組状況の報告、地域ブロック・地域班・職群班について、役員の報酬等及び費用に関する規程の改正について、市民夏のにぎわいフェスタ2025について

8/5・・・活動状況、理事長・副理事長の活動状況、新入会員、事業実績報告、(第4回) 事故発生概要・ヒヤリハット報告、各部会取組状況の報告、全シ協の総会から、市民夏のにぎわいフェスタ2025について、市長・議長要望について、三シ連安全就業推進大会について、令和7年度「三重県シルバーの日」について、シルバーいきいきフェスタ2025、令和7年度最低賃金の改定について、令和7年度人事院勧告について、シルバー会員就労支援事業について、費用弁償等支給要綱について、退会者の内訳、令和7年度事業・普及部会実施事業計画、シルバーワークプラザの指定管理について、中期計画の策定について、高齢者活躍人材確保育成事業について

10/15・・・活動状況、新入会員、事業実績報告、事故発生概要・ヒヤリハット報告、各部会取組状況の報告、令和7年度最低賃金について、シルバー会員就業支援事業について、安全・適正就業強化月間パトロールの結果報告、高齢者活躍人材確保育成事業について、市民夏のにぎわいフェスタの結果、令和7年度上半期監査について、令和7年度人事院勧告について、三重県シルバーの日について、令和7年度シルバー福祉・家事援助サービス月間について、役職員人権研修について、安全講習会について、剪定講習会について、理事長・副理事長の報酬の改正、20周年記念事業積立金規程の廃止及び25周年記念事業積立金設置規程の制定、令和7年度収支補正予算について、シルバーワークプラザの指定管理について、就業拡大について、役職員先進地視察について、中期計画について

12/5・・・活動状況、理事長・副理事長の活動状況、新入会員、事業実績報告、(第6回) 事故発生概要・ヒヤリハット報告、各部会取組状況の報告、シルバー人材センターの指定管理について、令和7年度上半期監査結果、三重県下10月度月次統計報告、安全標語の選定結果、安全講習会につい

て、令和7年度放課後児童クラブ合同イベント、令和7年度理事長・事務局長研修会報告、伊賀市シルバー人材センターの現状について、独自事業について

2/3・・・活動状況、新入会員、事業実績報告、事故発生概要・ヒヤリハット報告（第7回）告、各部会取組状況の報告、令和7年度事業・普及部会「事業実施計画書」について、剪定講習会について、児童クラブ合同イベントについて、令和8年度定時総会について、令和8年度事務費率について、シルバーワークプラザの賃貸借について、D&O（役員賠償責任）保険・サイバー情報漏えい保険への加入

3/24・・・活動状況、理事長・副理事長の活動状況、新入会員、事業実績報告、（第8回）事故発生概要・ヒヤリハット報告、各部会取組状況の報告、令和8年度安全就業に係る実施計画書、放課後児童クラブ合同イベント、会員募集広告、企業ニーズアンケート結果、シルバーワークプラザ使用賃貸借契約、中期基本計画、公益充実資金等取扱規程、令和7年度事業計画に基づく事業報告（案）、令和8年度事業計画（案）、令和8年度収支予算（案）、令和7年度収支補正予算（案）等

### 1 3. 役職員等の視察研修

役職員の先進地視察研修は、役職員全員で行くのではなく、部会で視察に行く  
と決定しているが、適当な視察先が見つからなかったため中止としました。

### 1 4. 財務対策強化への対応

・事務費率の引上げ 公共13%、民間13%

### 1 5. 新しい契約方法への円滑な移行

・関係企業約120社や市役所関係課への説明を行い新契約書の締結を行いました。

### 1 6. 設立20周年記念事業

・令和7年3月末日で伊賀市シルバー人材センターは、設立20周年を迎えました。令和7年5月31日に青山ホールにおいて西川ヘレンさんをお招きし、記念講演会を開催し、青山ホールが満員となり大成功を納めました。  
・また、設立20周年記念誌「シルバー伊賀」も発刊いたしました。

### 1 7. 空き家管理について月間シルバー（令和7年11月号）の取材を受ける

・「空き家を適切に管理し賃貸や売却につなげる」と題して取材を受けました。  
・この記事が契機となり、奈良県斑鳩町シルバー人材センターからの視察を受けました。

### 1 8. 認知症サポーターに認定される

・令和7年12月5日に伊賀市包括介護支援センターの研修「認知症サポーター

養成講座」を受け、役職員30名が認知症サポーターと認定されました。

#### 19. 他のシルバー人材センターからの視察等

- ・新しい契約方法について、令和7年4月から新契約方法に移行したのは、三重県下では伊賀市及び東員町の2つのシルバー人材センターだけであり、伊賀市シルバー人材センターは、先進地として事務局長会議で講師を務めさせていただいたほか、各市のシルバー人材センターから問い合わせを受けたところです。
- ・厚生労働省の令和6年度補正予算事業である「シルバー会員就業支援事業」の企画提案を行い、委託事業として受託することができました。ラジコン草刈機、ミスト扇風機、マッスルスーツなどを賃借することができました。とりわけ、ラジコン草刈機については、夏の猛暑の中でも、涼しい木陰などから操作ができるということで、他のシルバー人材センターから視察がありました。
- ・令和5年度で事故件数が27件と、大変多くなったため、令和6年度から危険予知トレーニング（KYT）に取り組み、令和6年度は事故件数17件、令和7年度は、事故件数が14件と減少しました。とりわけ草刈りにおける飛び石の件数は、令和5年度では、14件であったのが、令和6年度で2件、令和7年度で1件と激減しております。この成果により、他のシルバー人材センターからKYTに関する視察がありました。